

伊丹市総合交通計画 (中間改定版)の総括(案)

令和7年度第2回伊丹市総合交通会議(全体会)

日時:令和7年11月5日(水)15時～

場所:伊丹市役所 1階 101会議室

都市交通部交通政策室交通政策課

1.まとめ

- 評価指標では、活動指標が目標値を達成しなかったものの、**成果指標ではすべて目標値を達成**しました。
- 各基本戦略では、**歩行者・自転車通行空間**などのハード整備が一定進められるとともに、**自転車安全利用の取り組みでは、法改正を踏まえた新規事業**などのソフト面の事業展開が行われました。

2.基本戦略の状況

- ◆ 1-①「自転車の安全・快適な利用促進」では、**市道昆陽車塚線**における自転車レーンの整備が完了したほか、オリジナル啓発動画や自転車事故の発生場所を示した小学校区別の「**自転車ハザードマップ**」の作成・公開を行いました。また、市・警察・関係団体が連携した交通安全イベント等の啓発事業を継続して行ったほか、令和5年4月に施行された改正道路交通法を受け、「**自転車ヘルメット購入応援事業**」を実施しました。
- ◆ 1-②「安全・快適で歩いて元気になるみちづくり」では、中心市街地(宮ノ前4085号線ほか3路線)における**電線共同溝整備工事が完了**したほか、街路樹の更新・再整備を進めました。
- ◆ 1-③「目的や役割に応じた効率的な道路整備」では、山田伊丹線(昆陽泉町工区)及び塚口長尾線(昆陽南工区)の整備が進められたほか、**園田西武庫線(御園工区)の開通**により渋滞交差点の緩和が図られました。
- ◆ 1-④「環境に配慮した交通まちづくり」では、伊丹市交通局、阪急バス及び阪神バスにおいて**EVバスの導入**が進められました。

3.評価指標の状況

評価指標	性質	H31/R1 (現状)		R3	R4	R5	R6
自転車レーン等整備区間延長(km)	↑	目標	—	9.0	9.4	10.5	12.2
		実績	7.8	9.0	9.2	9.5	9.9
市営自転車駐車場利用台数(台/日)	↑	目標	—	6,064	6,331	6,598	6,865
		実績	6,865	5,999	6,370	6,680	6,777
交通安全教室の参加者数(人/年)	↑	目標	—	6,300	6,350	6,400	6,450
		実績	6,258	4,322	4,716	4,779	5,014
自転車関連事故件数(件/年)	↓	目標	—	396	377	357	337
		実績	420	238	184	160	172
人口1万人当たりの自転車関連事故件数(件/年)	↓	目標	—	20	19	18	17
		実績	21	12	9	8	9
歩道(街路樹)再整備延長(km)	↑	目標	—	0.6	1.5	2.2	2.4
		実績	0	0.4	0.4	1.5	1.7
都市計画道路整備率(%)	↑	目標	—	88.7	88.9	89.0	89.1
		実績	88.1	88.6	88.8	89.0	89.0
大気汚染に関する環境基準達成率(二酸化窒素NO2)(%)	＝	目標	—	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	100

※ :アウトプット(活動)指標 実施した施策の活動量や成果を数値であらわした指標
その他:アウトカム(成果)指標 実施した施策がもたらした本質的な変化・影響を数値であらわした指標

基本目標2 交流を支える公共交通の充実

1.まとめ

- 評価指標では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の影響で目標値を達成しなかったものの、**計画期間を通じて回復傾向を維持**しました。
- 各基本戦略では、公共交通における利便性の向上の取り組みや新たな利用促進策も展開され、**市内の公共交通ネットワークの維持・確保**が図られました。

2.基本戦略の状況

- ◆ 2-①「公共交通の利便性向上」では、阪急伊丹線の各駅に**固定式ホーム柵を設置**するなど、駅構内の安全確保に向けた取り組みを進めました。また、伊丹市交通局では、バス車内の混雑状況や接近情報をお知らせする「**いたみバスナビ**」を導入したほか、阪急バスでは、JR伊丹駅・阪急曽根駅・緑地公園駅を結ぶ新バス路線「**阪急バス 豊中東西線**」が開通するなど、公共交通利用者の利便性向上が図られました。
- ◆ 2-②「公共交通の利用促進」では、夏休み期間中、伊丹市営バス・阪急バス・阪神バスの対象路線が乗り放題になる企画乗車券「**いたみっ子おでかけパス**」を販売したほか、「グリーンジャム」などのイベント等との連携に取り組みました。また、JR西日本MaaSアプリ「WESTER」や関西の交通事業者連携による広域型MaaSアプリ「KANSAI MaaS」をリリースするなど、**様々な移動手段・サービス等と連携したサービス提供**を行いました。
- ◆ 2-③「高齢者等の移動手段の確保」では、高齢者、障がい者等に**市営バスの特別乗車証**を交付し、外出支援及び経済的負担軽減を図りました。また、シェアサイクル、AIデマンドバス等、新しい移動手段の研究を進めました。

3.評価指標の状況

評価指標	性質	H31/R1 (現状)	R3	R4	R5	R6
市営バス利用者数 (万人/年)	目標	—	1,527	1,527	1,527	1,527
	実績	1,527	1,191	1,263	1,321	1,293
鉄道乗降客数 (人/日)	目標	—	72,240	82,560	92,880	103,200
	実績	103,200	87,087	91,497	95,225	95,135
交通局営業収支率(%)	目標	—	90	90	90	90
	実績	90	76	80	81	85

※ :アウトプット(活動)指標 実施した施策の活動量や成果を数値であらわした指標
 その他:アウトカム(成果)指標 実施した施策がもたらした本質的な変化・影響を数値であらわした指標

基本目標3 地域資源と市民力を活用した交通まちづくり

1.まとめ

- 評価指標では、計画期間を通じておおむね目標値を達成しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響等により、成果指標である中心市街地における流動人口や観光入込客数では、目標値を下回りました。
- 各基本戦略では、地域資源である空港と中心市街地を結ぶ**空港アクセスバスの運行**や**中心市街地の放置自転車対策**などにより、まちの魅力の創出が図られました。

2.基本戦略の状況

- ◆ 3-①「空港を活かしたまちづくり」では、**空港アクセスバスのパターンダイヤ化**など、利便性の向上を図りました。また、空港内「**INFORMATIONひょうご・関西**」を活用した地域資源の魅力発信や、伊丹空港でのイベントにおける**日本遺産PR事業と連携**した空港アクセスバスの利用促進に取り組みしました。
- ◆ 3-②「中心市街地回遊性の向上」では、**市道宮ノ前4085号線の無電柱化事業が完了**するなど、良好な都市景観の創出を図りました。また、**伊丹市営バスと「まちなかバル」の連携**やJR伊丹駅前駐車場での**カーシェアサービスの開始**など、中心市街地の活性化に取り組みしました。
- ◆ 3-③「中心市街地における自転車等の放置の防止」では、自転車駐車場の計画的な維持管理と改修を行うとともに、放置自転車を防止する啓発・指導を実施しました。
- ◆ 3-④「市民とともにつくる交通まちづくり」では、市、警察及び民間事業者等が連携した交通安全イベントを実施したほか、「**伊丹市のおでかけに関するアンケート調査**」を実施し、伊丹市総合交通計画の改訂に繋げました。

3.評価指標の状況

評価指標	性質	H31/R1 (現状)	R3	R4	R5	R6
空港線バス乗降客数(千人/年)	目標	—	226	283	340	396
	実績	566	278	352	416	418
中心市街地4エリアにおける1日あたりの流動人口(4エリア合計)	目標	—	102,000	112,200	123,420	135,760
	実績	168,064	99,190	96,918	104,460	111,775
観光入込客数(千人/年)	目標	—	3,100	3,100	3,100	3,100
	実績	2,738	1,931	2,498	2,365	2,510
放置自転車等台数(台/日) ※特定日における台数	目標	—	120	119	118	117
	実績	120	58	38	56	77
人口1万人当たりの交通事故発生件数(件/年)	目標	—	49	48	47	46
	実績	50	34	25	22	23
高齢者交通事故発生件数(件/年)	目標	—	310	300	290	280
	実績	328	209	153	140	148

※ :アウトプット(活動)指標 実施した施策の活動量や成果を数値であらわした指標
 その他:アウトカム(成果)指標 実施した施策がもたらした本質的な変化・影響を数値であらわした指標